

## 情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2018年 10月 12日作成

研究課題名	経母体ステロイド投与の至適タイミングに関する検討
研究の対象	2010年1月から2018年3月までに総合周産期母子医療センターで出産した方のうち、34週未満で早産することが予想され経母体ステロイド投与を受けた方
研究目的 ・方法	できるだけ多くの方に最もステロイド投与の効果が高いタイミングで投与できるように、当院で実際にどの程度適切に投与できているのかを検証し、早産が予想された理由別にどのような傾向があるのかを把握することを目的としています。電子カルテとデータベースの情報を基に早産が予想された理由別にステロイド投与してから分娩までの期間を解析します。
研究期間	西暦 2018年 11月 22日 ～ 西暦 2019年 3月 31日
研究に用いる 試料・情報 の種類	電子カルテとデータベースに登録されている対象者の方の年齢、分娩時週数、経産婦か初産婦か、早産の既往があるかどうか、入院した日から分娩までの期間、入院してからステロイド投与をした期間、ステロイドを投与してから分娩までの期間、早産する可能性があるかと予想された理由
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p><b>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</b></p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 総合周産期母子医療センター（研究責任者）山本ゆり子 電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-253-5784</p>	